

---

# ヒック

愛威慈郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ヒック

### 【Nコード】

N6146G

### 【作者名】

愛威慈郎

### 【あらすじ】

僕の四角い箱には神様がいます。

(前書き)

歌詞として作ったので読みにくい部分が多々あると思います。  
ご了承くださいm(´`´´)m

暗く寒い

僕の四角い箱

散らかつてるけど大切なものが無い

ここから出るための鍵の無いドアは  
外から漏れる音を閉ざして何かを守ってる

僕があの日生まれたという奇跡

僕が今も生き続けているという奇跡

僕があの夜“生まれたい”と願った愚かさ

僕が今でも生き続けているという愚かさ

それは半分こずつに分けられた僕の命

どちらかが多いときと僕は壊れるから

じゃあ今零れた涙はどっちに積もるの？と

君は言う 僕は悩む

きっと神様にもわからないよ

明日から変わりたい

僕を変えたい

願ったって僕は僕のまま

じゃあいつそ眠り続けたい

何も考えたくない

祈ることをしないでただの無神論者でいい

古木の匂い

僕の四角い箱

物は沢山あるけどそれも全て捨ててきた忘れ形見

ドアの隙間から見える大きな光は  
僕の中の狂気を溶かしてくれる

奇跡を願って生まれてきた僕  
奇跡を信じて生き続けてる僕  
愚かにも生まれたいと願った僕  
愚かにも今でも生き続けてる僕

それは僕が僕のために二つに分けた心  
どちらかが多いと僕が僕で在ることを忘れるようにと  
じゃあ今感じた気持ちはどうちに積もるの？と  
君は言う 僕は悩む  
きっと誰にもわからないよ

今すぐに変わりたい  
僕を変えたい  
願ったって僕は僕のままだけど  
変わるために生き続ける僕で在りたい  
愚かな奇跡を信じてくれた  
誰かのために生きる僕で在りたい

僕の四角い箱には神様がいて  
それを23個の染色体が教えてる  
パパとママが抱いた愛を嘘にしないように  
僕の意味が嘘だと思わないように



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6146g/>

---

ヒック

2010年10月19日14時54分発行